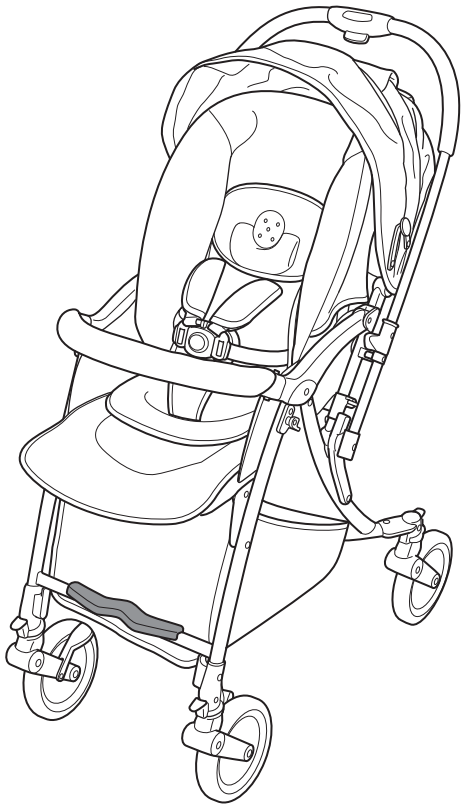
pigeon

取扱説明書 保証書付き

15.01(2)

ピジョン Runfee ランフィ

A形ベビーカー



※イラストと実際の商品は、形状など異なる場合があります。

もくじ

ご使用の前に 2
付属品 3
ベビーカーを開く前に 3
安全にお使いいただくために 4
オート４輪切替について 8
３ステップフィットシートについて 9

1 各部の名称
各部の名称 10

2 日常での使い方
ベビーカーの開き方 12
ストッパーの使い方 13
キャスターの使い方 14
ハンドル切り替えの使い方 15
オート４輪切替の使い方 17
フロントガードの使い方 19
幌の使い方 21
３ステップフィットシートの使い方 23
シートベルトの使い方 28
リクライニングの使い方 29
足のせバーの使い方 30
シートベルト位置と長さの調整の仕方 31
肩ベルト・腰ベルトの取り外し方、取り付け方 34
ベビーカーの折りたたみ方 35
カゴの使い方、取り外し方、取り付け方 36

3 日常の点検とお手入れ
保管のしかた 37
日常点検について 37
注油 38
清掃 38

4 その他
廃棄方法について 40
アフターサービス 40
SG マーク被害者救済制度 41
保証について（保証書） 42
お問い合わせ先 ..... 裏表紙

- ご使用の前に、この取扱説明書をよくお読みになり、正しくお使いください。
- 本書は、お読みになった後、大切に保管してください。
- 本品を他のお客様にお譲りになる際は、必ず本書も合わせてお渡しください。

SG

安全基準A形
（1ヵ月～36ヵ月まで）

ご使用の前に

この製品は、一般家庭でお子様を乗せて、外気浴、買い物などに使用するための一人乗りベビーカー（乳母車）です。

対象年齢

●対象年齢：生後1ヵ月以上36ヵ月以内
※お子様の発育により個人差があります。お子様の体重の目安は15kg以下です。
※お子様を寝かせた姿勢で、ご使用いただける月齢の目安は12ヵ月までです。
　お子様の頭がヘッドレストに当たる場合はリクライニングを一番倒した状態で使用しないでください。

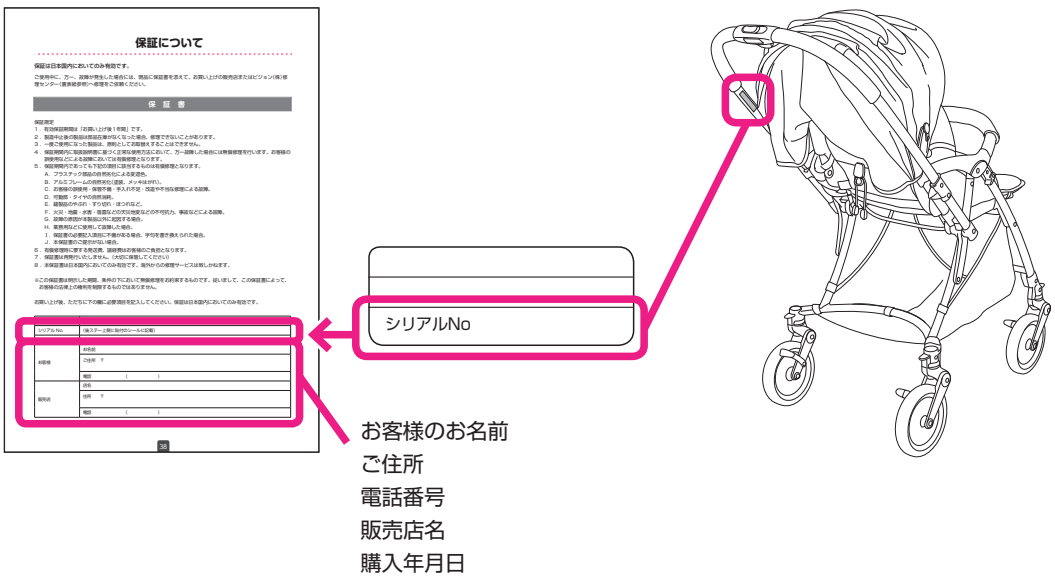
望ましい連続使用時間

●寝かせた姿勢: 2時間以内　　●座らせた姿勢: 1時間以内
※お子様が一人でお座りができるまでは、寝かせた状態でご使用ください。

保証書にご記入ください

購入後、本書巻末の「保証書」に次の項目をご記入ください。

●製品のカラー
●シリアルNo（ハンドル左内側に記載）
●お客様のお名前・ご住所・電話番号
●お買い求めになった販売店名
●購入年月日（※お買い上げ時のレシート添付でも有効）



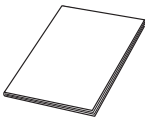
付属品

購入時の状態

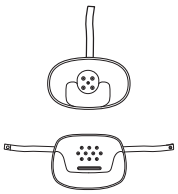
●開封後、本体と付属品がすべて揃っていることをご確認ください。

① ベビーカー本体
② 幌・・・・本体に取り付けられています。
③ 取扱説明書(本書)
④ ハグットシートS
(ヘッドピロー、・・・・本体に取り付けられています。
座面クッション)

③ 取扱説明書(本書)



④ ハグットシートS



警告

本体および部品を入れてあるポリ袋は、窒息事故を防ぐため、廃棄してください。

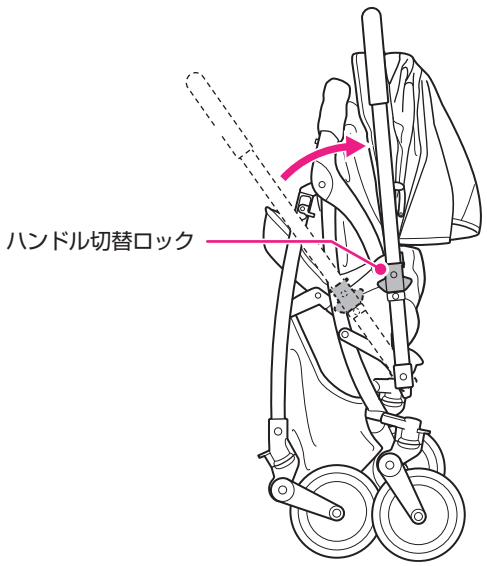
ベビーカーを開く前に

ベビーカーが折りたたまれた状態で、両側のハンドル切替ロック部を同時に持ち上げ、本体やハンドルを倒すなど力が加わると、ハンドルが背もたれ側にあるロック位置から外れてしまうことがあります。

ハンドルがロック位置から外れた状態では、ベビーカーを開くことはできません。外れている場合は、右図のようにハンドルを背もたれ側に戻していただくとハンドルロック部が正規な位置にセットされ、ベビーカーを開くことができます。

ベビーカーを開く時、開閉レバーが固くて開けない場合は、ハンドルを一度下に押し下げてから開き直してください。

製品を取り出した時には前輪のストッパー及び前輪キャスターのロックがかかった状態です。ご使用前に解除してください。



安全にお使いいただくために

本書には製品を使用する上でご理解いただきたい警告及び注意事項を記載しています。
記載内容は、製品を正しく安全にお使いいただき、危害や損害を事前に防止するためのものです。
記載内容を守られなかった場合は、お子様や保護者の方、および他の人々が重大な損害を受ける恐れがあります。本書では取扱いを誤った結果、使用者、お子様に発生が予想される危害・損害の大きさや切迫度により項目を〔警告〕〔注意〕の２項目に分けて示しています。

表示	表示の内容
警告	誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性があります。
注意	誤った取扱いをすると、人が傷害を負ったり、物的損害が発生する可能性があります。

ご使用の際にお守りいただく内容を下記の表示マークで示しています。

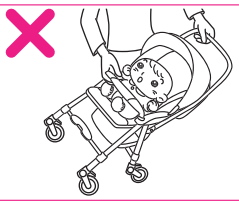
表示マーク	マークの意味
⚠	警告・注意を促す内容があることを示します。
✕	禁止行為を示します。

⚠ **警告**

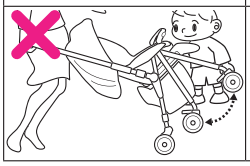
ベビーカーの転倒によりお子様が落下したり、ベビーカーが折りたたまれてしまいお子様が挟み込まれる恐れがあります。

- 階段・エスカレーターなどの段差があるところでは使用しないでください。
- 砂場・砂浜・河原・砂利道・山道・ぬかるみ・雪道・水たまりでは使用しないでください。
- 風の強い時、雷の時など悪天候の時は使用しないでください。使用者も危害を受ける恐れがあります。

破損、異常が発生した場合は、そのまま使用せず、必ず修理を受けてください。

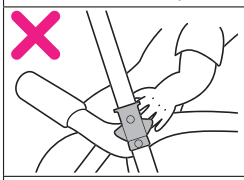


お子様を乗せたままベビーカーを持ち上げないでください。ベビーカーが破損したり、お子様が落下する恐れがあります。

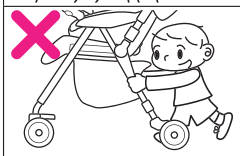


ベビーカーの開閉時やリクライニング操作時、幌・カゴなどの操作時に、そばにお子様や他の人がいると、誤って指をはさむなどのケガをする恐れがあります。

●排水溝の蓋（グレーチング）の上や踏切などの走行は車輪が挟まったりして転倒などの恐れがあります。走行する際には路面の状態を確認してください。
●車輪がはまった時には脚のパイプを持って、引き抜いてください。

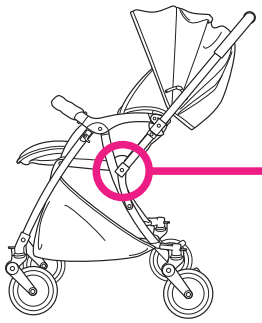


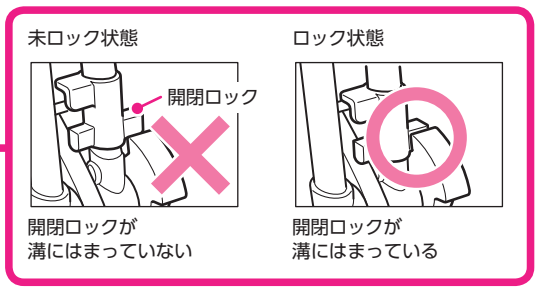
●お子様がアームレストの周囲に手を乗せていると、ハンドル切り替え時に手や指をはさむ恐れがあります。必ず手の位置を確認してください。



お子様にベビーカーを操作させないでください。手足をはさんだり、転倒するなど思わぬ事故が発生する恐れがあります。

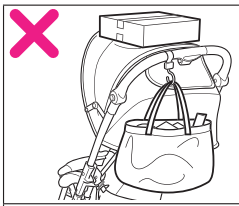
ベビーカーを開いたら、開閉ロックが完全にかかっていることを確認してください。また、前後輪を交互に持ち上げ、車体が閉じないことを確認してください。



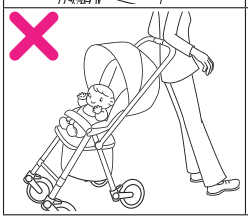


警告

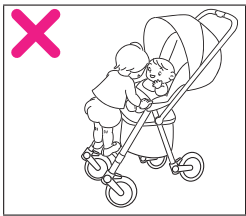
ベビーカーの転倒によりお子様が落下する恐れがあります。



カゴ以外の所に荷物を載せたり、ハンドル部に荷物をつるしたりしないでください。
ハンドル部に荷物を下げたり、荷重をかけると後方へ転倒する恐れがあります。



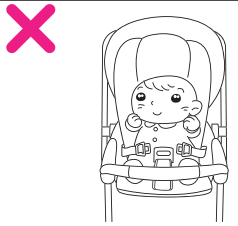
ベビーカーに寄りかかったり、大人が座ったりするなど、過度の荷重をかけないでください。フレームの故障、変形の原因になります。



●二人以上のお子様を乗せないでください。
●お子様を座面以外のところに乗せないでください。
●ベビーカーはゆっくり歩いて押してください。走ると車輪が振れて転倒する恐れや、お子様に悪影響を与える恐れがあります。

警告

お子様が落下する恐れがあります。

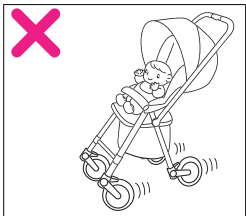


●お子様は座面の正しい位置に座らせ、シートベルト（股ベルト、腰ベルト、肩ベルト）を必ず締めて使用してください。
●バックルを締めた後、シートベルト（股ベルト、腰ベルト、肩ベルト）にゆるみが無いこと、確実に取り付けられていることを確認してから使用してください。肩ベルトが長すぎる状態で使用した場合に、首に巻きついたりする恐れがあります。

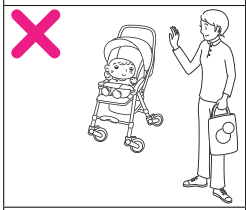
●お子様は思わぬ動作をしますので、シートベルト（股ベルト、腰ベルト、肩ベルト）を締めていてもお子様の抜け出しや立ち上がりには目を離さず、十分注意してください。
●お子様をベビーカーの中で立たせないでください。

警告

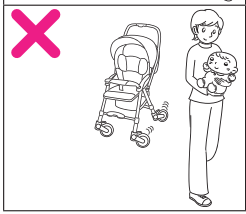
ベビーカーが動き出したり、転倒することによりお子様が落下する恐れがあります。



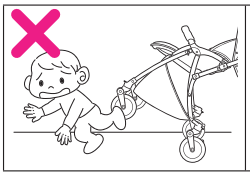
ストッパーは、構造上、いかなる状態でもベビーカーを静止させることのできるものではありません。ストッパーをかけていても動き出す恐れがあります。ストッパーを過信しないでください。



お子様や荷物を乗せたままベビーカーから離れないでください。ストッパーをかけた状態でも離れないでください。



●お子様を乗せていない状態でも必ずストッパーはかけてください。
●空車であっても、坂の途中や車道に近い歩道上など危険な場所に放置しないでください。

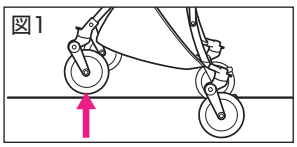


お子様が乗り降りする際は、ベビーカーが不安定になり、転倒する恐れがありますので、しっかりと支えてください。

注意

誤った取り扱いをすると、人が傷害を負ったり、物的損害が発生する可能性があります。

1. お子様を乗せる以外の目的で使用しないでください。目的以外の使用は破損・故障・ケガなどの恐れがあります。
2. ベビーカー本体には、お子様や荷物を乗せることを目的としたボードなどは取り付けないでください。ベビーカーの破損の原因となります。
3. お子様の足が車輪や地面につく場合は、使用しないでください。足をケガする恐れがあります。
4. お子様の頭がヘッドレストに当たる場合やシートの幅がきつくなりましたら、シートを起こした状態でお使いください。
5. フロントガードは引っ張ったり、振り回したり、必要以上に曲げたりしないでください。破損、故障の恐れがあります。
6. 使用のたびに、ネジ・リベットや車輪のゆるみ・部品の欠損が無いか、動作に問題が無いかを確認してください。
7. 前輪を持ち上げたままの状態で走行しないでください。過度の荷重がベビーカーに加わり破損、故障の恐れがあります。
8. 段差を乗り越える場合は、一旦止まり、必ず前輪を浮かせて段差を乗り越えてください。前輪を浮かさず無理に段差をのり越えようとすると前輪に衝撃が加わり転倒・破損・故障の原因になります。（図 1 参照）

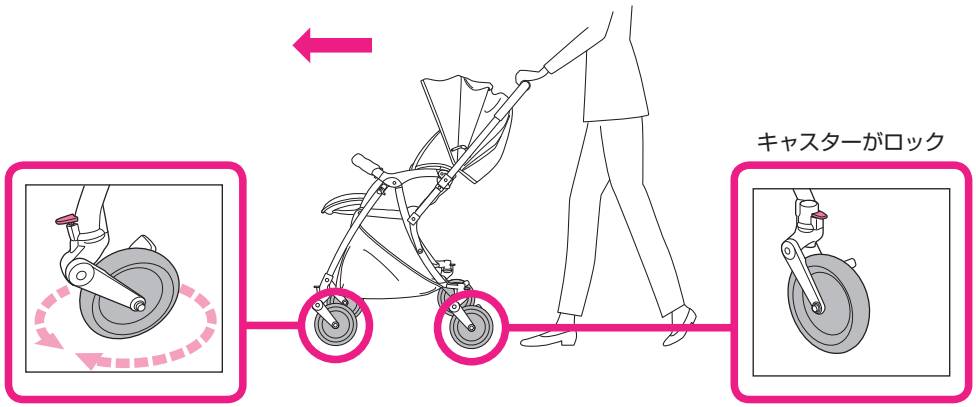


9. 夏季の炎天下では路面からの熱によりベビーカー内の温度が上昇します。長時間の使用は避けてください。
10. 冬季はベビーカー内の温度も下がります。お子様が寒くないよう保温を行ってください。
11. ベビーカーを分解、改造しないでください。
12. このベビーカーは、バス・電車などの乗り物内での使用を目的として設計されていません。
    バスの中ではベビーカーを使用しないでください。
    電車の中で、お客様の責任により使用する時は、カーブや急ブレーキなどで転倒する恐れがありますので、必ずストッパーを掛けて、十分に注意してご使用ください。
    電車ご利用の際は、無理な乗り降りはしないでください。ベビーカーが自動ドアにはさまれてケガをする場合があります。また、ホームと電車の段差、隙間には十分注意して乗降してください。
13. 駅のホームには傾斜があります。ベビーカーから手を離さないでください。
14. バックルを固定しづらい場合は、お菓子や飲み物などの異物が入っている可能性があります。バックルに異常を感じた場合は、使用を中止して、修理センターへご連絡いただき、点検修理を受けてください。

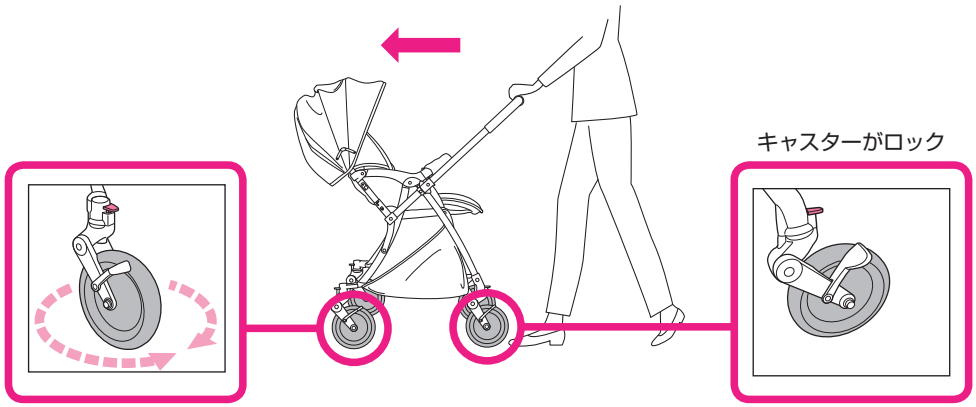
オート4輪切替について

この製品には、ハンドルを背面または対面の位置に切り替えると押す人側のキャスター（後輪）が自動的にロックされ、進行方向の前方のキャスター（前輪）だけがフリー（ロックを解除）になる機能があります。フリーになった前輪が左右に回転できるため、スムーズに方向転換できます。

背面（お子様の後方から押す場合）



対面（お子様と向かい合って押す場合）



警告

オート4輪切替を使用する時は、必ず4箇所ともキャスターレバーを押し上げてロックを解除してください。押す人側のキャスター（後輪）が自動的にロックされず、ベビーカーが転倒してお子様が落ちるおそれがあります。

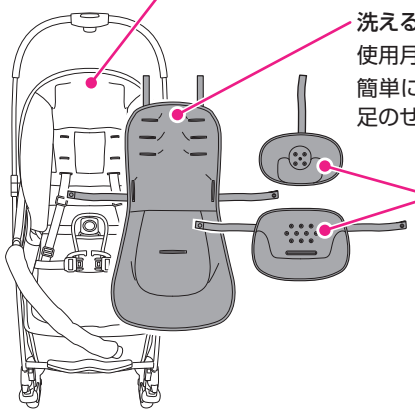
3ステップフィットシートについて

ピジョン独自のお子様の成長に合わせたシートシステムです。

「ハグットシートS」は、乗車中の赤ちゃんへの振動をやわらげ、赤ちゃんの体の位置や姿勢のずれを軽減します。
腰がすわる前の生後7ヵ月頃までの赤ちゃんに特に効果的ですが、生後7ヵ月以降もそのまま取り付けて、乗車中の姿勢くずれ防止に効果的にご使用いただけます。
※お子様の成長により体格に合わなくなりましたら取り外してください。

「洗えるリバーシブルシート」は、シーンによって両面を使い分けることができます。
例えば、暑い時期は、通気性抜群の立体メッシュ面を表にします。冬のお肌が乾燥する時期は、柔かいニット生地面を表にします。
洗えるリバーシブルシートはミルク汚れなども簡単に洗濯できます。

ベビーカーが狭く感じるくらいにお子様が大きくなってきたら、B形ベビーカーのように「メッシュプレートシート」のみでも使用できます。
メッシュで通気性を確保しつつ、ピンと張ったプレートのようなメッシュで疲れにくい姿勢を保ちます。



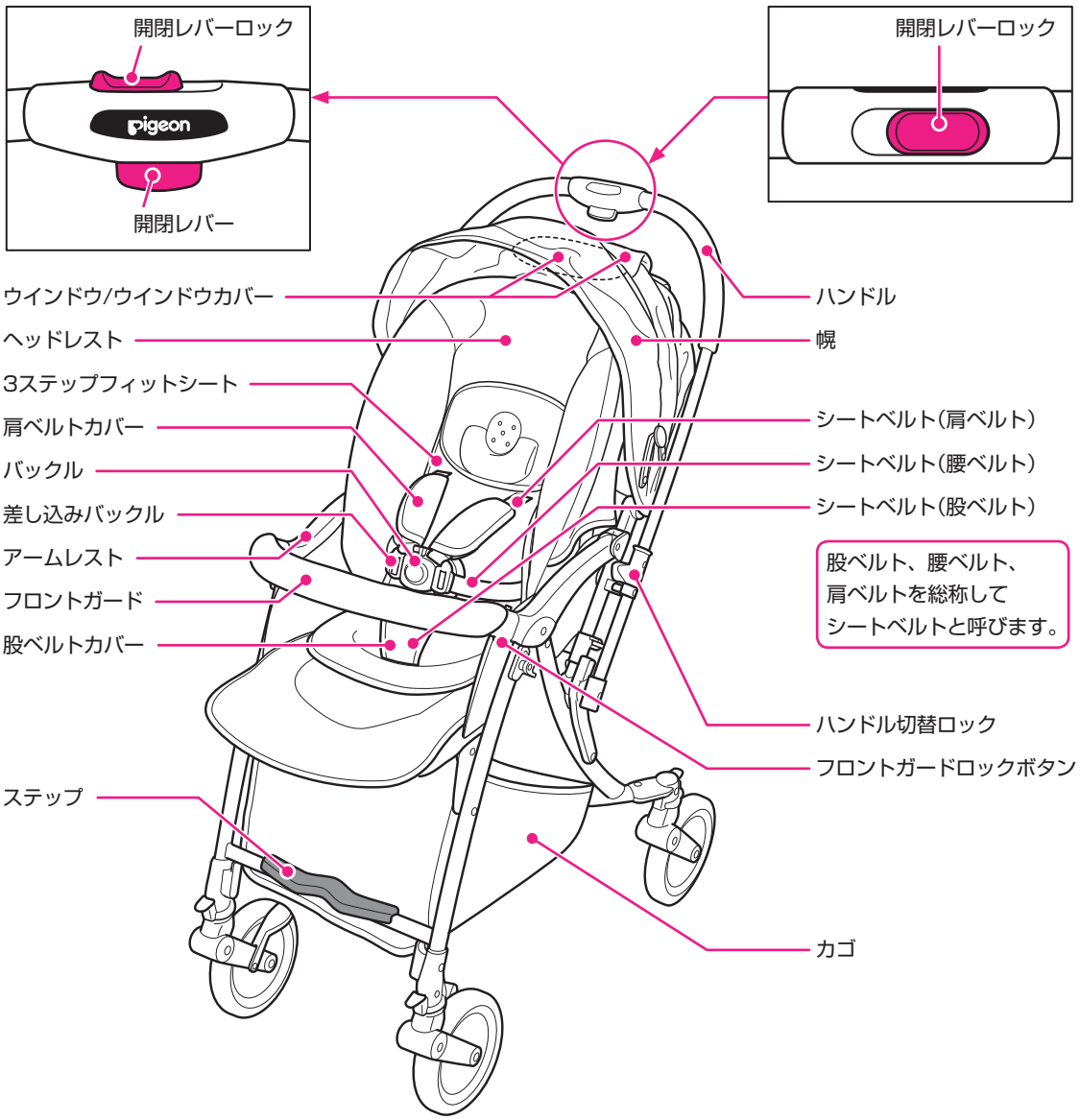
メッシュプレートシート
使用月齢：1～36ヵ月まで

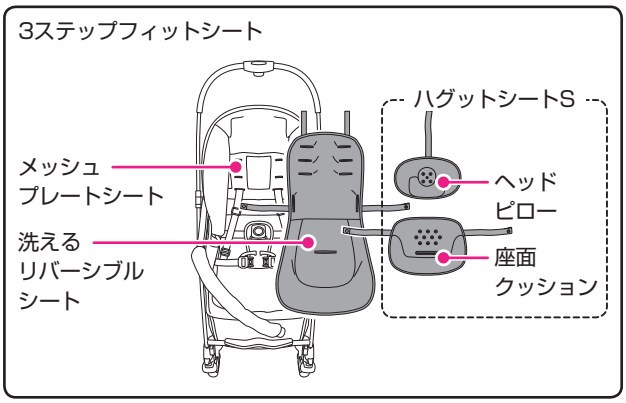
洗えるリバーシブルシート
使用月齢：1～36ヵ月まで
簡単に取り外して洗えます。使用する面を変える時は、足のせカバーを裏返してください。

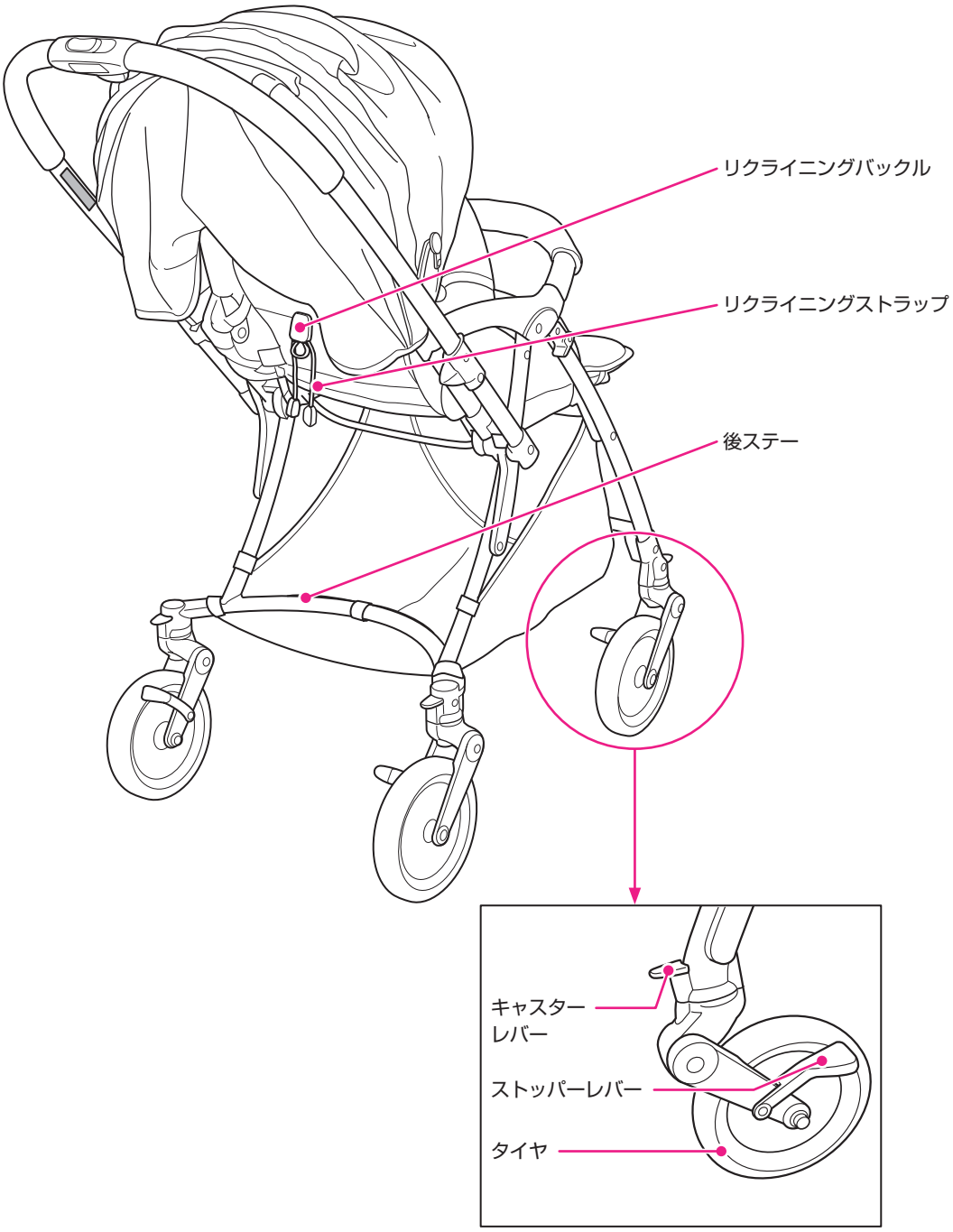
ハグットシートS
使用月齢：1ヵ月～
テイジンの高機能ポリエステルクッション材「エルク®」を使用し、頭、おしりをやさしく支える通気性に優れたインファントシート。

「ハグットシートS」と「洗えるリバーシブルシート」は洗濯機で洗うこともできます。詳しくは、P39の「縫製品の洗濯・洗浄」をお読みください。

各部の名称


開閉レバーロック
pigeon
開閉レバー
開閉レバーロック
ウインドウ/ウインドウカバー
ヘッドレスト
3ステップフィットシート
肩ベルトカバー
バックル
差し込みバックル
アームレスト
フロントガード
股ベルトカバー
ステップ
ハンドル
幌
シートベルト(肩ベルト)
シートベルト(腰ベルト)
シートベルト(股ベルト)
股ベルト、腰ベルト、
肩ベルトを総称して
シートベルトと呼びます。
ハンドル切替ロック
フロントガードロックボタン
カゴ


3ステップフィットシート
メッシュ
プレートシート
洗える
リバーシブル
シート
ハグットシートS
ヘッド
ピロー
座面
クッション


リクライニングバックル
リクライニングストラップ
後ステー
キャスター
レバー
ストッパーレバー
タイヤ

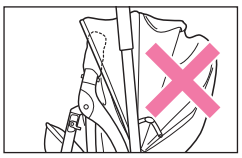
ベビーカーの開き方

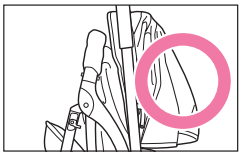
警告

- ベビーカーの開閉の操作時は、そばに人（特に小さいお子様）を近づけないで行ってください。指や手を挟んだりする恐れがあります。
- ハンドルを持ち上げて、車体を浮かせた場合は開くことができません。
- 開閉レバーが固い場合は、背もたれと座面の間に股ベルトが挟まれている場合があります。股ベルトを引き出してください。

注意

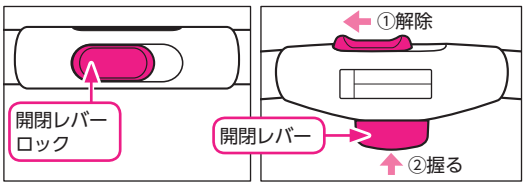
ベビーカーを開く時は、アームレストに幌がかかっていないことを確認してください。





アームレストに幌がかかった状態では、ベビーカーを開くことができません。幌を手前に引いてたたんでください。

1 タイヤが接地した状態でベビーカーの後ろに立ち、
①開閉レバーロックを横にスライドさせて解除し、
②開閉レバーを握ります



※図はハンドル後方から見たものです。

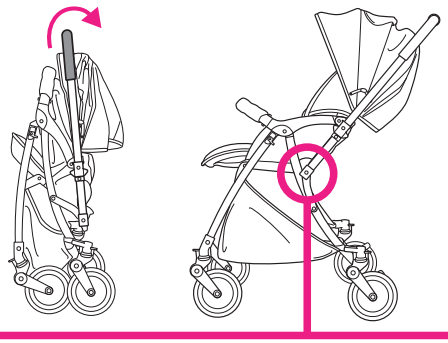
注意

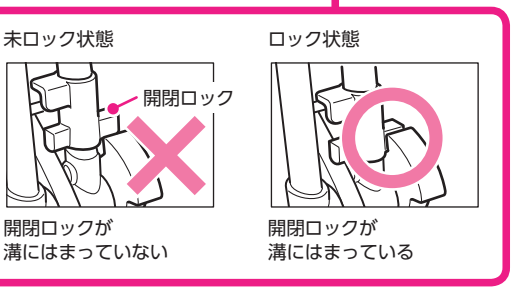
- 開閉レバーロックがロック状態のまま開閉レバーを握らないでください。故障の原因となります。
- 走行中は、開閉レバーロックを必ずロックしてください。

2 開閉レバーを握ったまま、ハンドルグリップを持ち上げながら後ろに引く

注意

開く時に、引っかかりや挟み込みなどを感じたら、開くのをいったん止めて、荷物や玩具・シートベルトなどが引っかかっていないかを確認してください。無理に開くと故障の恐れがあります。





3 ベビーカーが完全に開いたら、開閉レバーから手を離し左右の開閉ロックが完全にかかっていることを確認する（上図参照）

- 前後輪を交互に持ち上げてベビーカーが折りたたまれないことを確認します。

4 開閉レバーロックを横にスライドさせてロック状態にする

ストッパーの使い方

警告

●ベビーカーの操作は必ず事前に平坦な路面でストッパーをロックしてから行ってください。ロックしないと、操作中にベビーカーが動き出したり、転倒することによりお子様が落下したりする恐れがあります。また、第三者に危害を加える恐れがあります。

ストッパーをかける

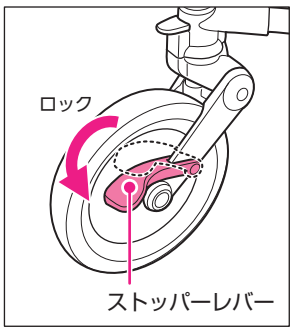
警告

●ストッパーは、構造上、いかなる状態でもベビーカーを静止させることのできるものではありません。ストッパーをかけていても動き出す恐れがあります。
●お子様や荷物の有無に関わらず、ストッパーを過信せず、常にベビーカーから離れないでください。
●ストッパーは、両輪共にかけてください。片輪のみでは、ベビーカーが動き出したり、転倒したりする恐れがあります。

注意

ストッパーを掛けた状態で、無理に動かしたり、体重をかけて寄りかかるような行為は破損、転倒の恐れがあります。

1 押す人側の左右車輪のストッパーレバーを押し下げて、ロックする

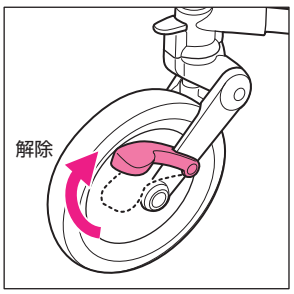


イラストは背面時（内側）の後輪のストッパーです。対面時は外側になります。

2 ベビーカーを軽く前後に動かしてストッパーのロックがかかっていることを確認する

ストッパーを解除する

1 押す人側の左右車輪のストッパーレバーを押し上げて、ロックを解除する



キャスターの使い方

平坦な道路では、キャスターをフリーにすると車輪の向きが変わり、方向転換がスムーズにできます。

警告

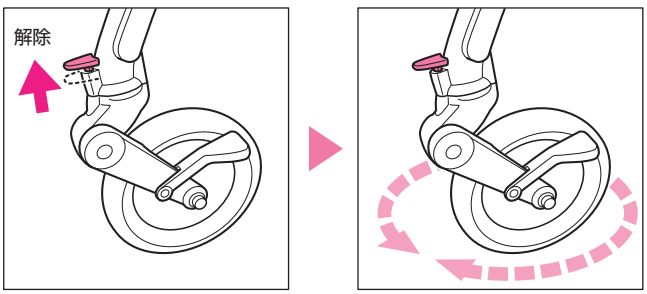
●凸凹道・坂道・傾斜面などの路面で走行する時には、キャスターを左右ともロックしてください。路面の状況によってはタイヤが思わぬ向きになり、ベビーカーが転倒したり、お子様が落下する恐れがあります。

キャスターをフリーにする

平坦な路面で走行する際には、4ヵ所ともキャスターのロックを解除し、フリーにしてください。

1 キャスターレバーを押し上げる

● キャスターフリーの場合は、自動で進行方向を向きます。

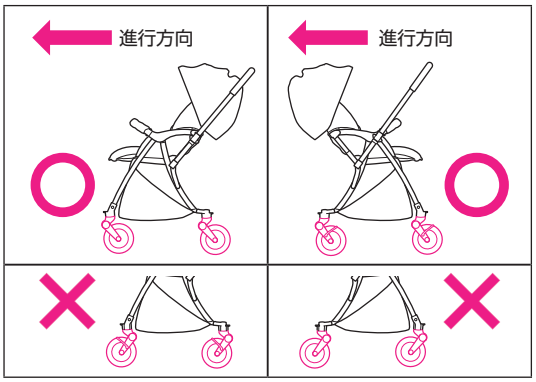


キャスターをロックする

凸凹道・坂道・傾斜面などの路面で走行する際には、進行方向前側左右のキャスターをロックしてください。直進性が高まり押しやすくなります。

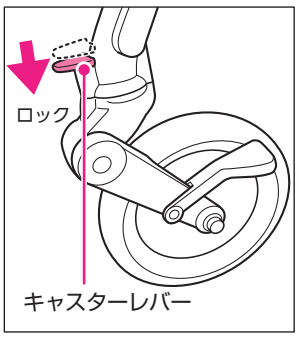
1 ストッパーレバーが下図のように向くようにキャスターの向きを合わせる

● 対面・背面の使用により、ロック位置が異なります。



向きが違うと直進が困難になったり、タイヤの片側のみ異常に摩耗することがあります。

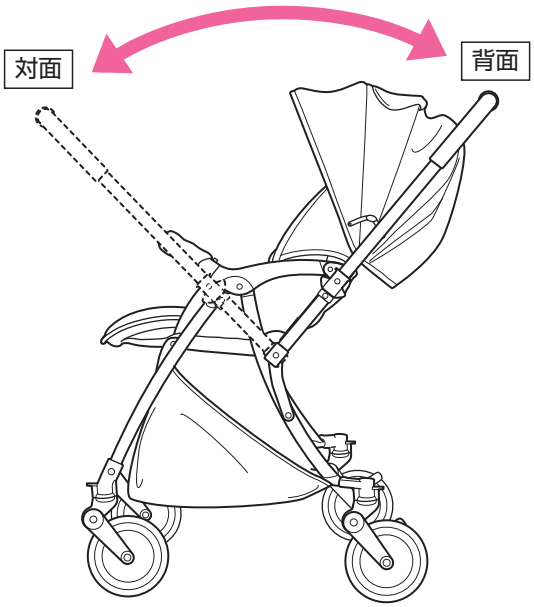
2 キャスターレバーを押し下げてロックする



● キャスターレバーをロックする際は、車輪の向きを左図の進行方向に合わせてからキャスターレバーを押し下げてください。車輪の向きが横や斜め方向を向いている場合はロックできません。

ハンドル切り替えの使い方

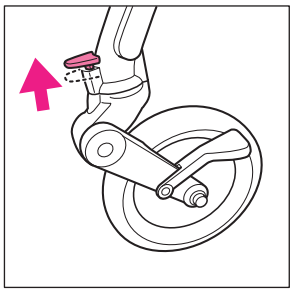
お子様と向き合う形にする時には、ハンドルを対面の位置に切り替えます。



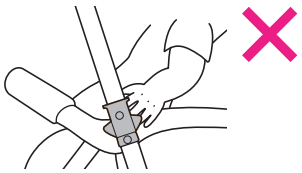
警告

- ベビーカーを押しながらハンドルの切り替えは行わないでください。
- お子様がアームレストの周囲に手を乗せていると、ハンドル切り替え時に手や指をはさむ恐れがあります。必ず手の位置を確認してください。

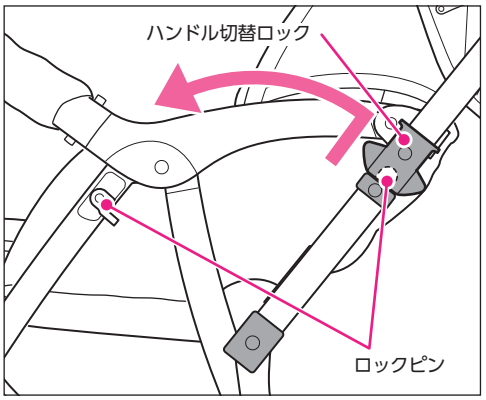
1 キャスターレバー4ヵ所を解除する



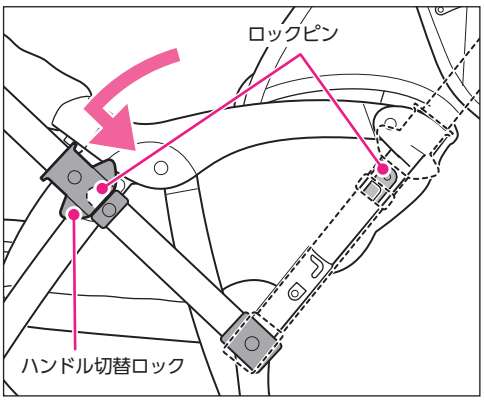
2 お子様がアームレストの周囲に手を乗せていないことを確認する



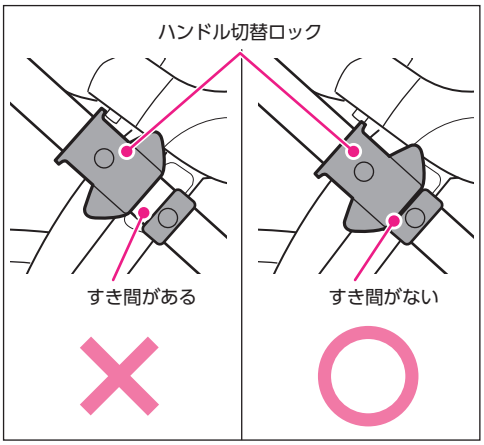
3 左右のハンドルロックを両方とも上に引き上げてロックを外す



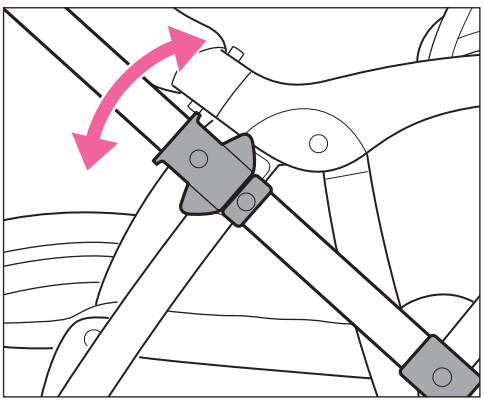
4 ハンドルを動かし、向きを変える



5 ハンドル切替ロックが確実にかかっていることを確認する



6 ハンドルを前後させても動かないことを確認する



オート4輪切替の使い方

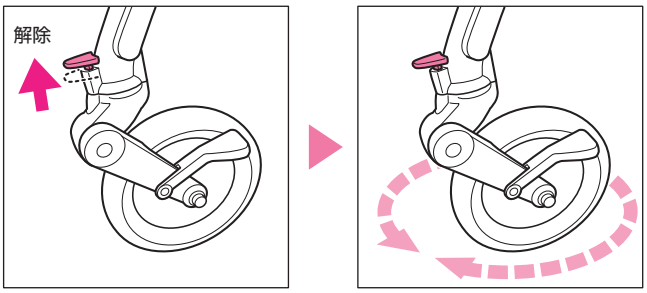
この製品を押す方向(背面、対面)を変える時は、ハンドルの位置を切り替えると共に、キャスターのロック状態を確認してください。

キャスターをフリー(ロック解除)にする

背面の場合も対面の場合も、4ヵ所ともキャスターのロックを解除し、フリーにしてください。

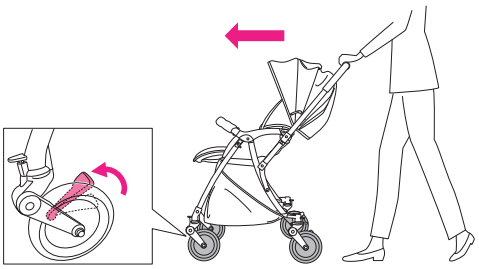
1 キャスターレバーを押し上げる

● キャスターフリーの場合は、キャスターが自動で進行方向を向きます。

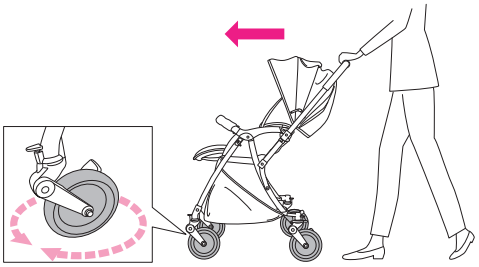


背面の場合

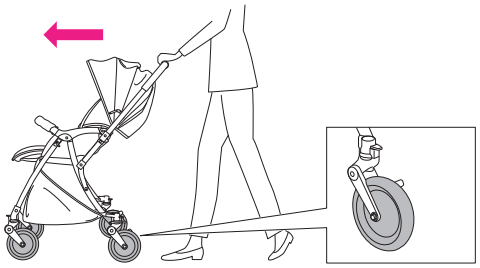
1 ハンドル切り替え後、4ヵ所ともストッパーレバーを押し上げ、ベビーカーを少し前進させる



2 進行方向の前方のキャスターがフリーになっていることを確認する

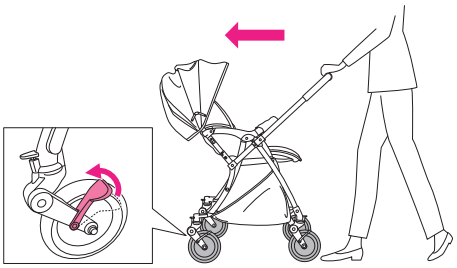


3 押す人側のキャスターが自動的にロックされていることを確認する

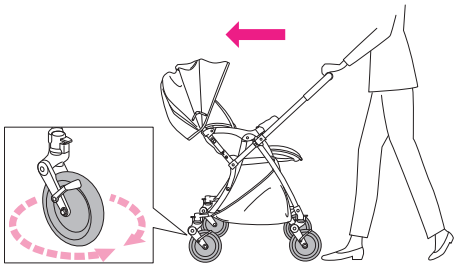


対面の場合

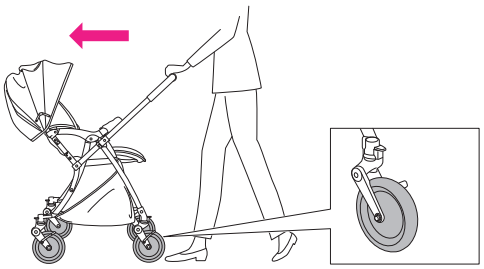
1 ハンドル切り替え後、4ヵ所ともストッパーレバーを押し上げ、ベビーカーを少し前進させる



2 進行方向の前方のキャスターがフリーになっていることを確認する



3 押す人側のキャスターが自動的にロックされていることを確認する



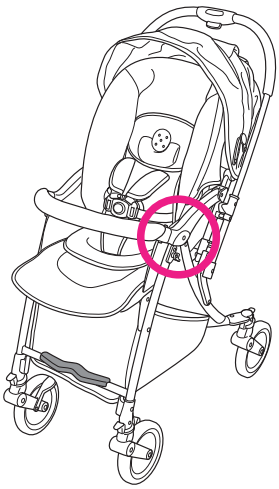
フロントガードの使い方

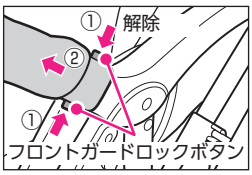
警告

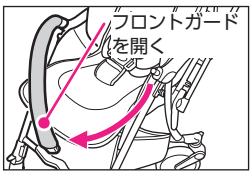
- フロントガードの片側を外した状態でフロントガードを引っ張って使用したり、振り回したりしないでください。破損やケガの恐れがあります。
- フロントガードに過度の力を加えたり、必要以上に曲げたり、過度の衝撃を与えたりしないでください。
- ベビーカーをご使用の際は、必ずフロントガードカバーを取り付けてください。
- お子様を乗せたりおろしたりする時は、必ず事前に平坦な路面でストッパーをロックしてから行ってください。ロックしないと、操作中にベビーカーが動き出したり、転倒することによりお子様が落下したりする恐れがあります。また、第三者に危害を加える恐れがあります。
- お子様の乗せ降ろしはフロントガードの片側を開いて行ってください。手足や服などが引っかかり、ベビーカーが転倒したり、お子様が落下する恐れがあります。
- フロントガードはお子様の立ち上がりやズレ落ち、抜け出しを防ぐものではありません。お子様を乗せる際には必ずシートベルトを締めてください。
- フロントガードロックボタンはお子様に操作させないでください。フロントガードが急に外れることがあります。
- フロントガードを持ってベビーカーを持ち運ばないでください。フロントガードの破損、またはフロントガードが抜け落ちる恐れがあります。

フロントガードを開く

1 フロントガードの、
①右側上下2つのフロントガードロックボタンを同時に押し込んだまま、
②前に引き抜く



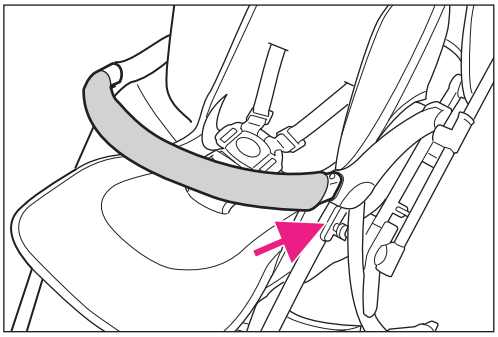




フロントガードを閉じる

1 フロントガードをアームレストの突起に合わせ、押し込む

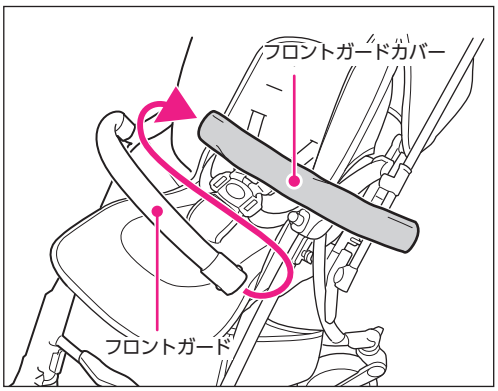
2 フロントガードを軽く引っ張って、ロックが外れないことを確認する



フロントガードカバーを取り外す

1 フロントガードから、フロントガードカバーを引き抜く

- ベビーカーをご使用の際は、必ずフロントガードカバーを取り付けてください。



※フロントガードカバーは、
取り外して洗濯ができます。

幌の使い方

警告

●ベビーカーをご使用になる時は、幌を必ず取り付けてご使用ください。お子様が幌ホルダーの穴に指を入れる恐れがあります。

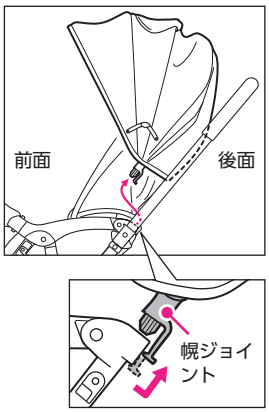
注意

●ベビーカーの折りたたみは必ず幌を折りたたんでから行ってください。開いたまま無理に折りたたむと、幌が破損する恐れがあります。
●幌の上に荷物を置いたり、荷重を掛けたりしないでください。

幌を取り外す/取り付ける

取り外す

1 幌を閉じて、幌ジョイント後方のレバーを手前に引き幌を引き抜く



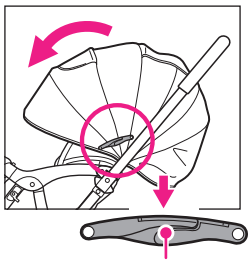
取り付ける

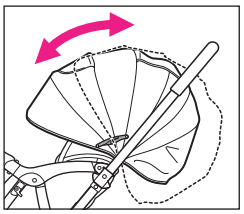
1 幌の前後を確認し左右の幌ジョイントを幌ホルダーの穴に最後までしっかり差し込む

幌を開く／閉じる

開く

1 幌を前に広げ、左右の幌レバーのレバー部を押し下げる



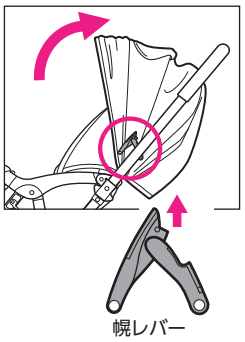


日差しの向きにより、幌を前後に動かすとお子様に日があたることを防げます。

閉じる

1 前方にある場合は幌をハンドル側に戻す

2 幌レバーのレバー部を引き上げ、幌を後側にまとめる



ウインドウを開く／閉じる

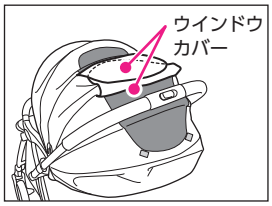
ウインドウを開くと風通しが良くなります。また、シート上のお子様の様子を見ることができます。

開く

幌のウインドウを開くときはウインドウカバーをめくります。

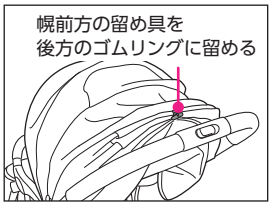
後方にあるウインドウカバーを留める時はウインドウカバー内側のゴムリングとウインドウ上部の留め具を使用し、丸めて留めてください。

前後どちらかのウインドウのみ開くことも、前後同時に開くこともできます。



閉じる

後方のウインドウを閉じる時は、留め具を外してウインドウカバーを幌の面ファスナーにあわせます。背もたれを起こして使用する時は、図のように留め具を幌後方のゴムリングにかけると、幌を小さく収納できます。



3ステップフィットシートの使い方

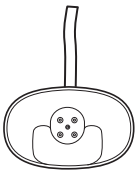
ハグットシートSは、乗車中の赤ちゃんへの振動をやわらげ、赤ちゃんの体の位置や姿勢のずれを軽減します。腰がすわる前の生後7ヵ月頃までの赤ちゃんに特に効果的ですが、生後7ヵ月以降もそのまま取り付けて、乗車中の姿勢くずれ防止に効果的にご使用いただけます。

※お子様の成長により体格に合わなくなりましたら取り外してください。

ハグットシートS（ヘッドピロー）を取り付ける

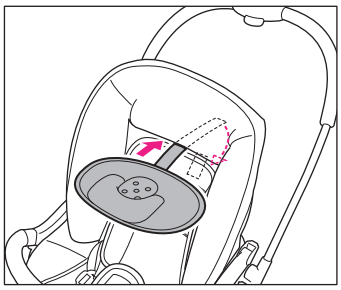
注意

- ヘッドピローはお子様の成長に合わせて、位置を調整してください。
- ヘッドピローの中心の円がお子様の後頭部の中心に合うように取り付けてください。
- 上下および裏表を確認してから取り付けてください。



背面を寝かせて使用する場合（生後7ヵ月頃まで）

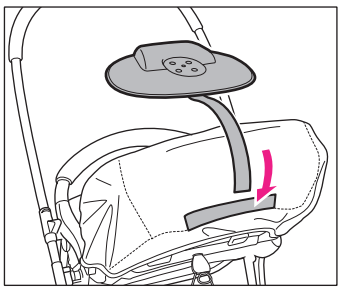
1 ヘッドピローの取り付けベルトを洗えるリバーシブルシート背面の穴に通す



ベルトをメッシュプレートシート前面上部の穴から裏へ通し、メッシュプレートシート背面の面ファスナーに留めます。

背面を立てて使用する場合（生後7ヵ月以降）

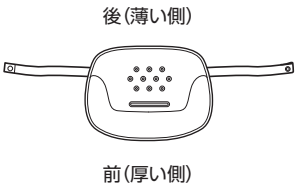
1 メッシュプレートシート背面の面ファスナーにヘッドピローのベルトを留める



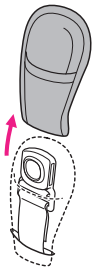
ハグットシートS（座面クッション）を取り付ける

注意

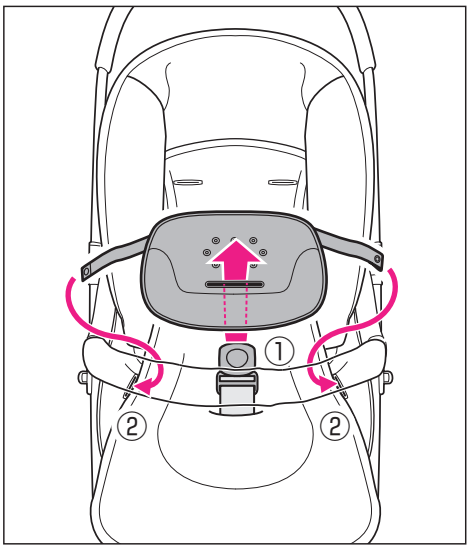
前後を確認してから取り付けてください。



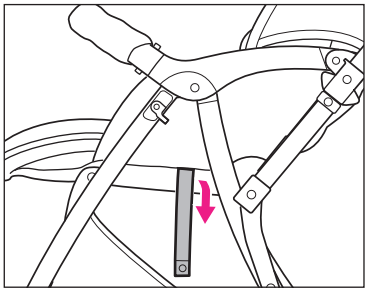
1 股ベルトカバーを取り外す



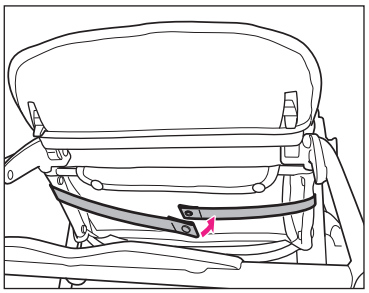
2 座面クッションを取り付ける
①座面クッションに股ベルトを通す
②洗えるリバーシブルシートの座面両側の穴からベルトを通す



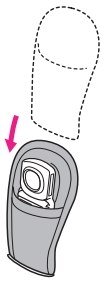
3 ベルトを車体の側面から出す



4 メッシュプレートシートの裏側でベルトのホックを留める



5 股ベルトカバーを取り付ける



ハグットシートSの取り外し方

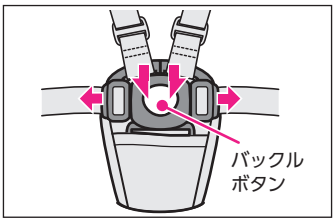
ハグットシートSを取り外す時は、取り付けと逆の手順で行ってください。

洗えるリバーシブルシートを取り外す

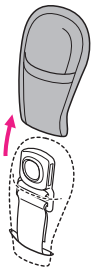
警告

- やぶれ・すり切れ・ほつれなどの発生したシートやベルトはそのまま使用しないでください。縫製品本来の機能を果たせないばかりでなく、お子様に危害がおよぶ可能性があります。
- シートの取り付けは本書の指示に従い、確実に行ってください。取り付けが不完全な場合、お子様が落下したりシートやベルトが損傷する恐れがあります。

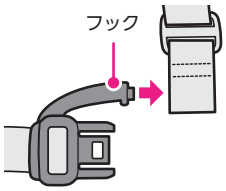
1 バックルボタンを押して、差し込みバックルを外す



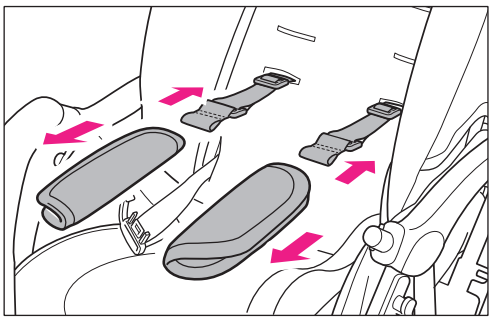
2 股ベルトカバーを取り外す



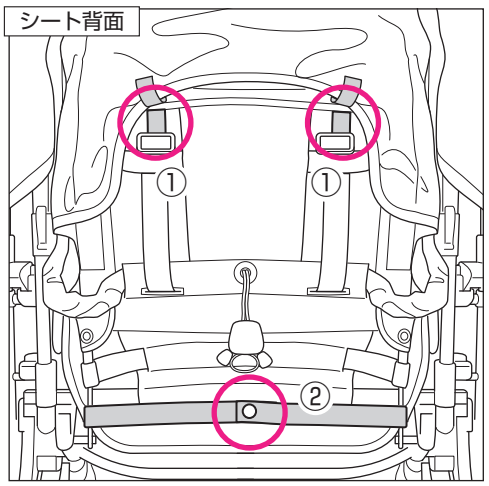
3 差し込みバックルのフックから肩ベルトを外す



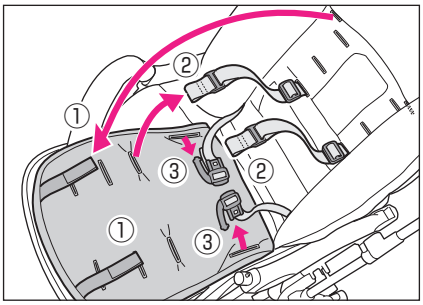
4 肩ベルトカバーから肩ベルトを抜く



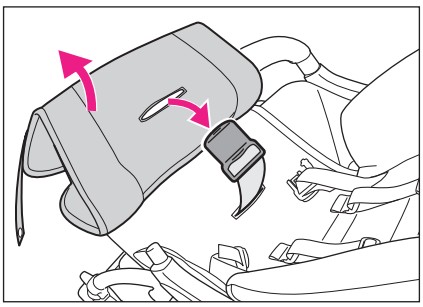
5 ①メッシュプレートシート背面から面ファスナー(2ヶ所)を外す
②メッシュプレートシート背面でベルトのホックを外す



6 ①面ファスナー(2ヶ所)をメッシュプレート
シートから抜き、シートをめくる
②肩ベルト(左右)をシートから抜く
③腰ベルト(左右)をシートから抜く

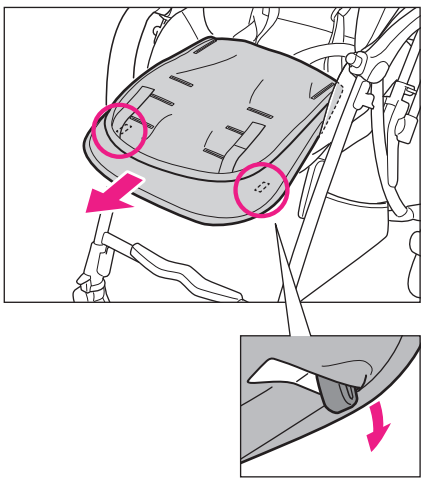


7 股ベルトをシートから抜く



8 シート全体を取り外す

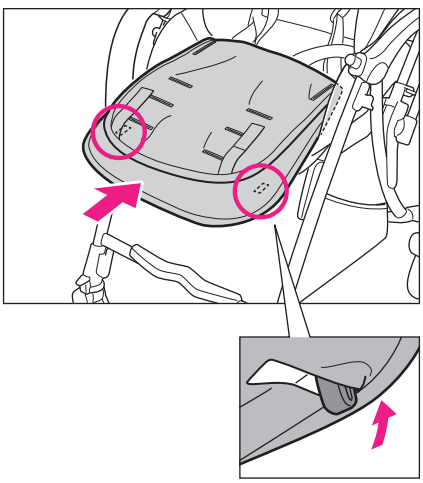
- 左右の足のせバーの裏面の突起を、開口部から抜きます。



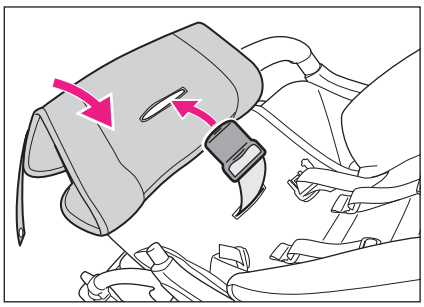
洗えるリバーシブルシートを取り付ける

1 シートの表にする面を確かめ、シート下部を取り付ける

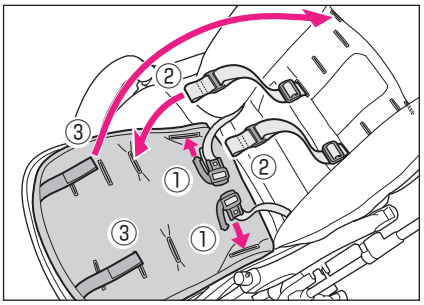
- 左右の足のせバーの裏面の突起を、開口部に通します。



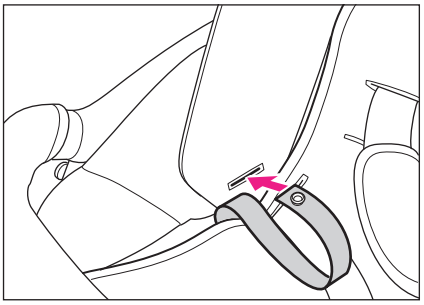
2 股ベルトをシートの開口部に通す



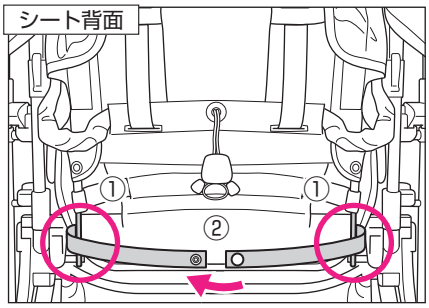
3 ①腰ベルト(左右)をシートの開口部に通す
②肩ベルト(左右)をシート左右の開口部に通す
③面ファスナー(2ヶ所)をメッシュプレートシートの開口部に通し、裏面で留める



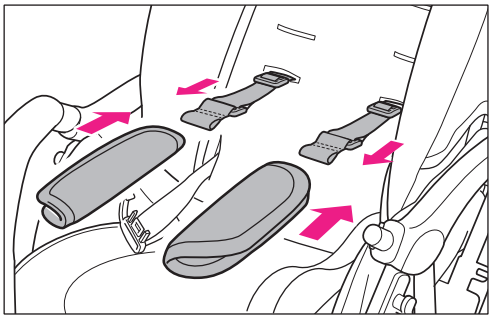
4 シートのベルトをメッシュプレートシートの開口部に通す



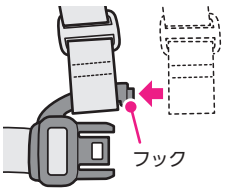
5 ①シートのベルトをフレームの間に通す
②シートのベルトのホックを留める



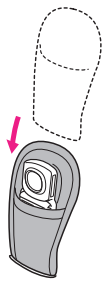
6 肩ベルトを肩ベルトカバーに通す
● テープのない側をお子様側にしてください。



7 肩ベルトを差し込みバックルのフックに取り付ける



8 股ベルトカバーを取り付ける



9 取り付け後、シートを軽く手で動かし、ベルトが外れていないか確認する

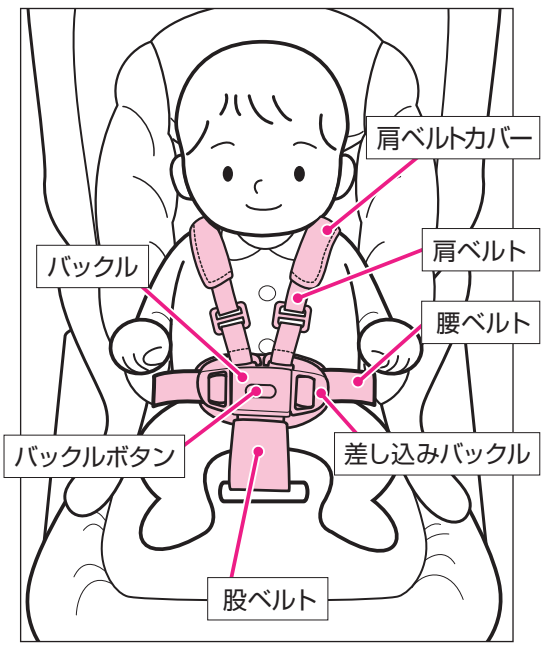
シートベルトの使い方

肩ベルト、腰ベルト、股ベルトを合わせてシートベルトと呼びます。

警告

- お子様を乗せた時は必ずシートベルトを締めてください。バックルを差し込まなかったり、シートベルトの締めかたが不完全だったりすると、お子様が落下する恐れがあります。
- 肩ベルトカバーを必ず着用してください。
- 肩ベルトは左右を交差させないでください。お子様の首を圧迫する恐れがあります。
- シートベルトはお子様の体に合わせて調節を行い、締めすぎやねじれ、ゆるみがないように締めてください。
- シートベルトを締めていても、お子様の抜け出しや、立ち上がりには十分に注意してください。個人差がありますので、シートベルトはいかなる場合でも抜け出しや立ち上がりを防止できるものではありません。常に目を離さないようにご注意ください。
- バックルボタンやベルトをお子様が操作しないように注意してください。
- 洗濯などでシートベルトを取り外した場合は、取扱説明書に従って正しく取り付けてください。取り付け方が不完全な場合、使用中にベルトやバックルが抜ける恐れがあります。取り付け後に引っ張って抜けないことを確認してください。

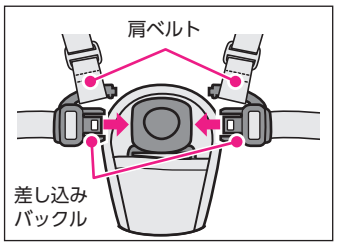
シートベルトを締める



1 お子様の股の間から股ベルトを通す

2 肩ベルトを差し込みバックルのフックに取り付ける

3 差し込みバックルをバックル本体にしっかり差し込む

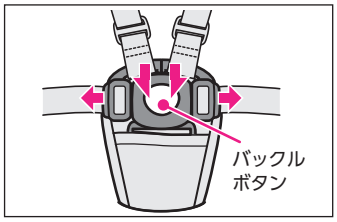


4 腰ベルトの腰側、股ベルトを引っ張って、バックルが外れないことを確認する

シートベルトを外す

1 バックルボタンを押す

- バックルボタンは中央部ではなく、差し込みバックルを外す側を押してください。中央部を押した場合は、左右の差し込みバックルが外れない場合があります。



リクライニングの使い方

警告

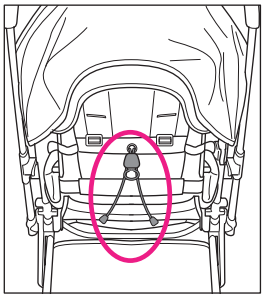
- お子様を座らせたままリクライニング操作をする場合、操作をする前に必ず肩ベルトをゆるめてから操作してください。
- ベビーカーを押しながらリクライニングの操作をしないでください。バランスを崩す恐れがあります。

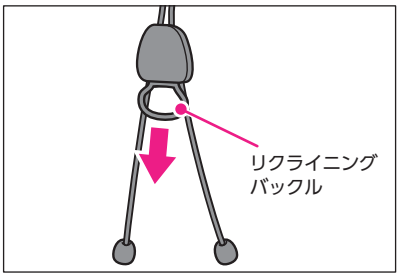
注意

- お子様を座面に座らせたままリクライニングを倒す操作をする時は、リクライニング角度が急に変わらないように、お子様の体重を手で支えながら行ってください。
- １人座りができないお子様の場合はリクライニングを倒して寝かせた状態で使用してください。
- お子様の頭がヘッドレストに当たる場合は、リクライニングを一番倒した状態で使用しないでください。
- 体重が背もたれに掛かった状態で無理にリクライニングを起こさないでください。故障の原因になります。

背もたれを倒す時は

ベビーカー背面

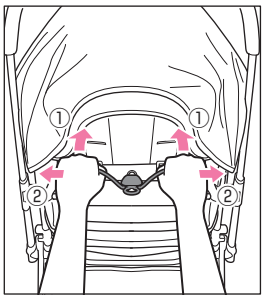




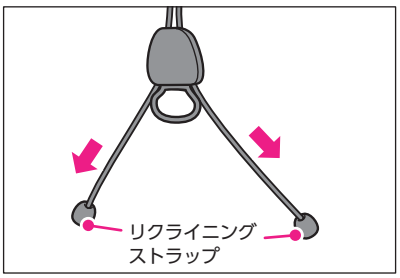
1. お子様を座らせたままの時は、肩ベルトをゆるめる
2. リクライニングバックルの輪に指をかけてゆっくり引く
   - 急にリクライニング角度が変わらないように、もう一方の手でお子様の体重を支えます。
3. ちょうどよい角度で、リクライニングバックルを引くのをとめる

背もたれを起こす時は

ベビーカー背面



握り拳の部分で背面を
持ち上げながら
リクライニング
ストラップを引く



1. 背もたれにお子様の体重がかからない状態にする
   - 体重がかかった状態では起こすことができません。
2. リクライニングストラップを両手で均等に矢印の方向に引く（握り拳の部分で背面を持ち上げながらリクライニングストラップを引く）
3. ちょうどよい位置で、リクライニングストラップを引くのをとめる

足のせバーの使い方

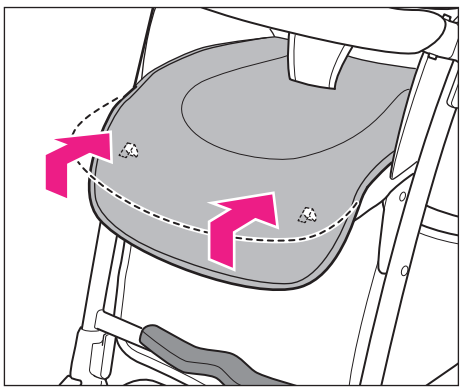
足のせバーを使うと、お子様が寝た時に、足を伸ばす姿勢にできます。

警告

お子様を足のせバーの上に立たせないでください。落下する恐れがあります。

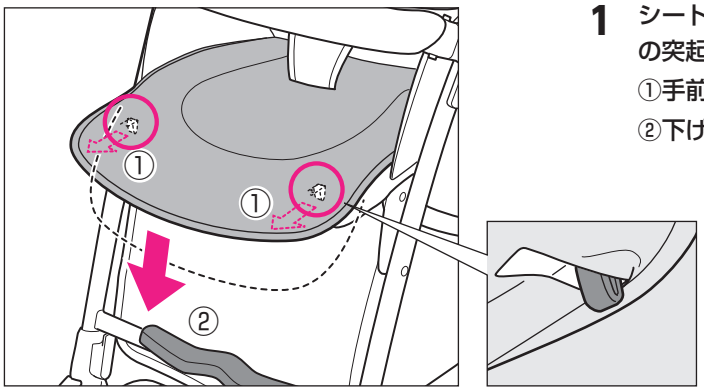
注意

足のせバーに重いものを載せたり、掛けたりしないでください。故障の原因になります。



1 シート前端内側にある左右の足のせバーを上にあげる

足のせバーを戻すには



1 シート前端裏面の左右にある足のせバーの下の突起に指をかける。
①手前に引きながら
②下げる

シートベルト位置と長さの調整の仕方

警告

シートベルトの取り付け・調整は下記の手順に従って行ってください。誤った取り付けを行うと、ベルトやバックルが抜け、お子様が落下する恐れがあります。

お子様は思わぬ動作をしますので、シートベルト（股ベルト、腰ベルト、肩ベルト）を締めていてもお子様の抜け出しや立ち上がりには目を離さず、十分注意してください。

ご購入時には、肩ベルトの位置を1ヵ月頃から後のお子様に適した位置（下段）に取り付けてあります。（お子様の成長は個人差がありますので月齢は目安です。）

このベビーカーは、肩ベルトの位置を下段・中断・上段の3段階に変更できます。お子様の落下事故はお子様の動きが活発になる生後6ヵ月頃から1才未満の頃に発生しやすく、必ずお子様の成長に合わせて、位置を変更してください。

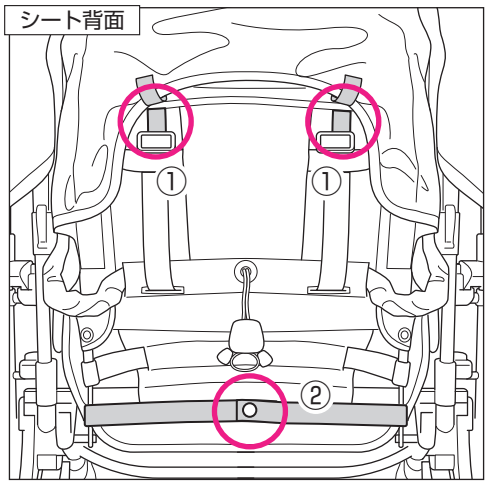
肩ベルトの位置調整と取り外し方

警告

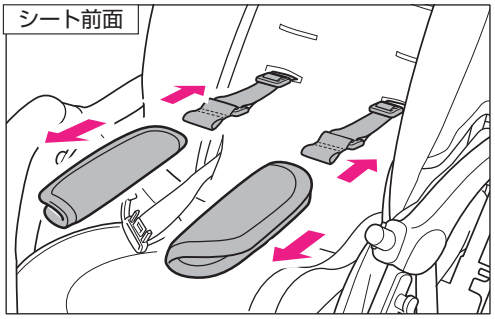
低月齢（1ヵ月～2ヵ月頃）のお子様を乗せる場合は、下段の位置のまま、腰ベルト・股ベルト・肩ベルトをお子様に適した長さに調整してください。

上段、中段、下段、どの位置への変更も同じ方法で行えます。図は、下段→中段の場合です。

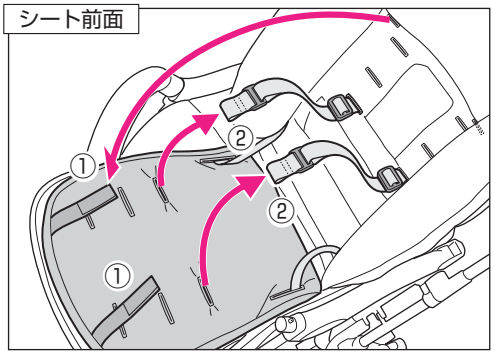
1 ①メッシュプレートシート背面から面ファスナー(2ヶ所)を外す
②メッシュプレートシート背面でベルトのホックを外す



2 肩ベルトカバーから肩ベルトを抜く

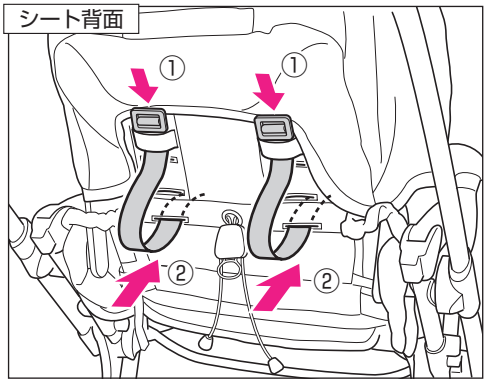


3 ①面ファスナー(2ヶ所)をメッシュプレートシートから抜き、洗えるリバーシブルシートをめくる
②肩ベルト(左右)を洗えるリバーシブルシートから抜く

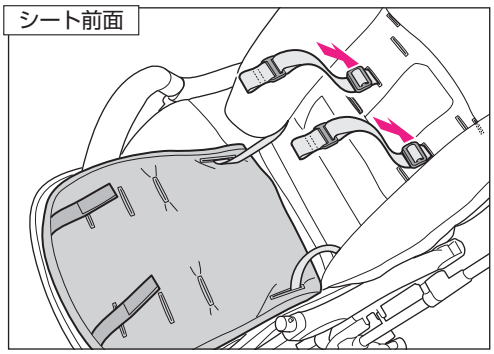


4 ①背面の肩ベルト止めから肩ベルトのバックルを外す
②肩ベルトをメッシュプレートシート前面に引き抜く

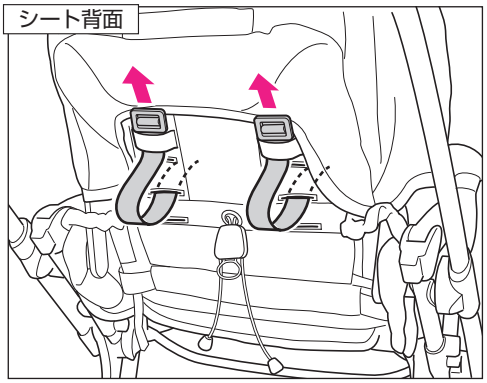
● 肩ベルトはこの段階で取り外せます。



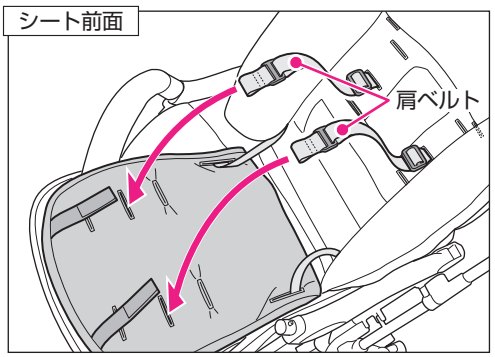
5 メッシュプレート前面の中段のベルト通し穴に、肩ベルトを通す



6 背面の肩ベルト止めベルトから肩ベルトのバックルを通す。

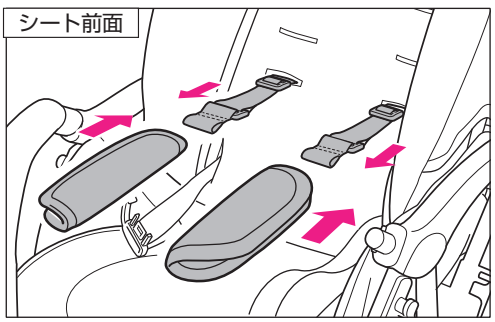


7 洗えるリバーシブルシートの中段のベルト通し穴に、肩ベルトを通す。



8 肩ベルトを肩ベルトカバーに通す

● テープのない側をお子様側にしてください。



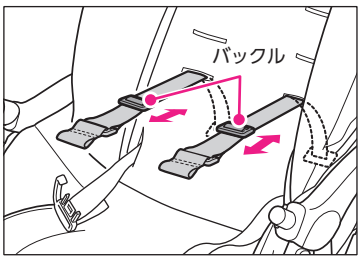
9 洗えるリバーシブルシートを取り付ける(P27の手順3～手順5参照)

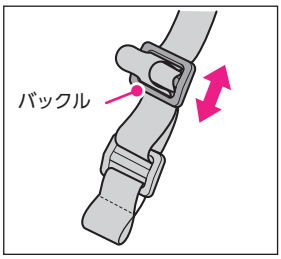
10 肩ベルトを前方に引っ張り、正しく固定されていることを確認する

肩ベルト、腰ベルト、股ベルトを調節する

肩ベルトの調整

バックルの位置を移動して、
長さを調節します。

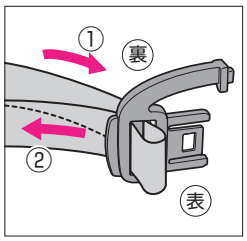




腰ベルトの調整　※ベルトは、バックルとお子様のお腹の間に大人の指が1本入る程度の隙間で調整します。

●締める

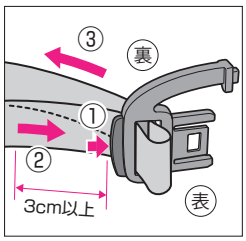
1 ①差し込みバックル裏側にある腰ベルトを、矢印の方向へ送り、ゆるめる
②差し込みバックル表側にある腰ベルトを、矢印の方向を引っ張り、締めすぎないように固定する



●ゆるめる

1 ①差し込みバックルのボタンを押したまま
②差し込みバックル表側にある腰ベルトを、矢印の方向へ送り、ゆるめる
③差し込みバックル裏側にある腰ベルトを、矢印の方向を引っ張る

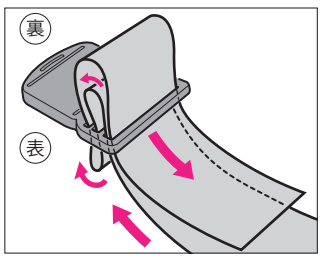
● ベルト先端が3cm以上出るようにします。



股ベルトの調整

●締める

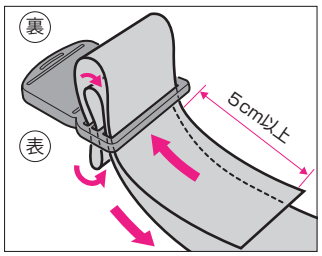
1 バックル表側にある股ベルトを、矢印の方向へ送り、最後に裏側にある股ベルトを引いて固定する



●ゆるめる

1 バックル裏側にある股ベルトを、矢印の方向へ送り、最後に表側にある股ベルトを引いて固定する

● ベルト先端が5cm以上出るようにします。

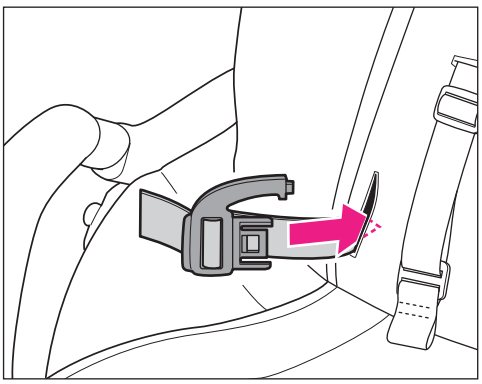


肩ベルト・腰ベルトの取り外し方、取り付け方

腰ベルトを取り外す

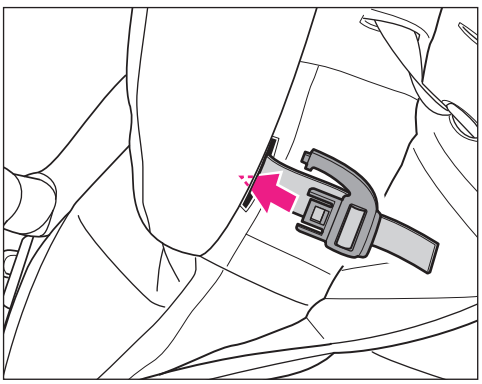
1 P25の手順1～3を行う

2 洗えるリバーシブルシートから腰ベルトを引き抜く

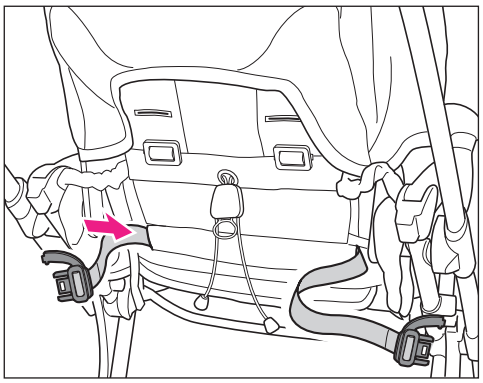


● 差し込みバックルを腰ベルトから取り外さない場合は、差し込みバックルの先端側から穴に押し込みます。

3 メッシュプレートシートの左右の穴から腰ベルトを抜く



4 メッシュプレートシート裏面の袋状の穴を通して、反対側に引き抜く

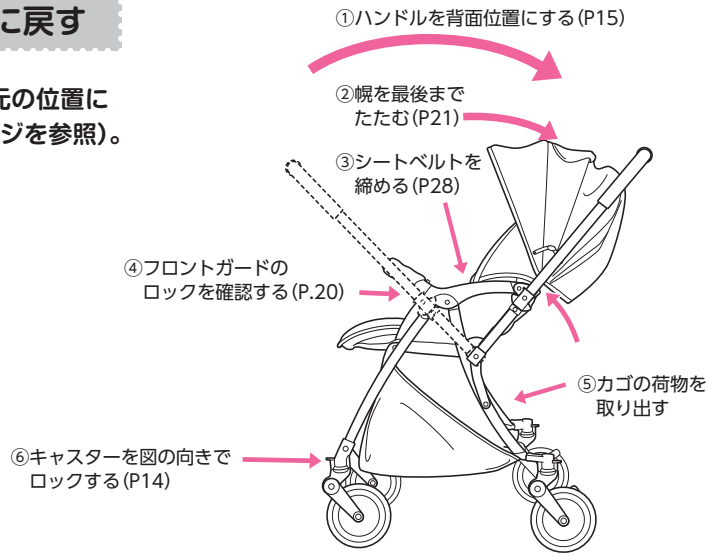


※取り付ける際は、取り外す際と逆の手順で取り付けてください。

ベビーカーの折りたたみ方

ハンドルなどを元の位置に戻す

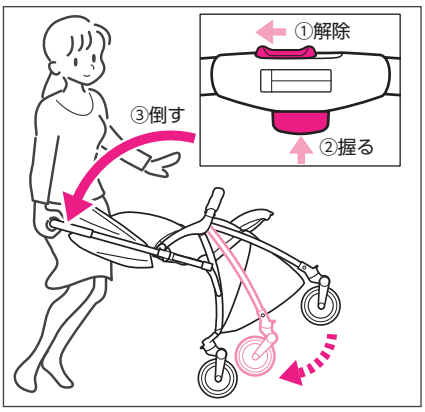
ベビーカーを折りたたむ前に各部を元の位置に戻します（操作はそれぞれの説明ページを参照）。



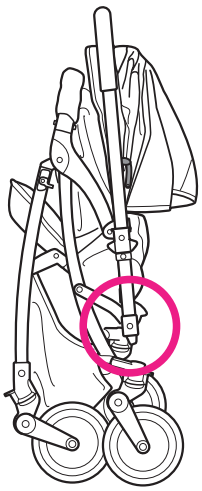
注意

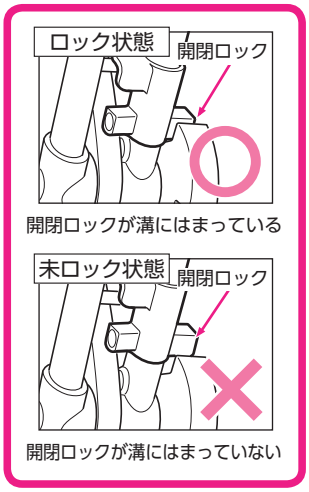
- お子様がそばにいないことを確認ください。
- カゴに荷物が入っていないことを確認ください。
- 折りたたむ時に、引っかかりや挟み込みなどを感じたら、折りたたむのをいったん止めて、荷物や玩具、シートベルトなどが引っかかっていないかを確認してください。無理に折りたたむと故障の恐れがあります。

1 ベビーカーの後ろに立ち、
①開閉レバーロックを横にスライドさせて解除し、
②開閉レバーを握り、
③そのまま、後タイヤを支点にして車体を後ろに傾ける（矢印の方向に倒す）



2 開閉レバーから手を離し、左右の開閉ロックが完全にかかっていることを確認する





3 開閉レバーロックを横にスライドさせてロック状態にする

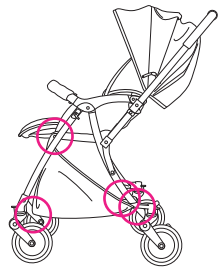
カゴの使い方、取り外し方、取り付け方

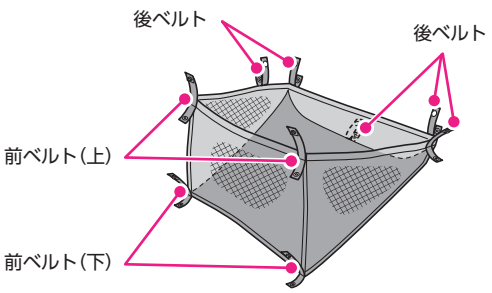
警告

- 5kg以上の荷物は載せないでください。カゴが破損する恐れがあります。また、ベビーカーがバランスを崩して転倒し、お子様が落下する恐れがあります。

警告

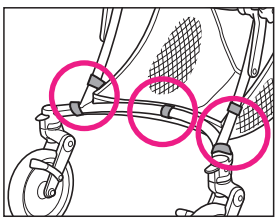
- カゴは洗濯機での洗濯はできません。お手入れの方法はP39を参照してください。
- 割れ物、ビン類は入れないでください。走行中の衝撃などで破損する恐れがあります。
- 角のとがったものやカゴからはみ出すものは入れないでください。カゴの変形、破れの原因になります。
- カゴの底に均等に荷重が加わるように荷物を載せてください。



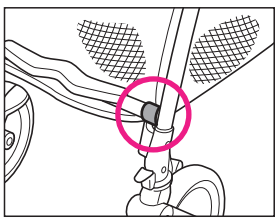


取り外す

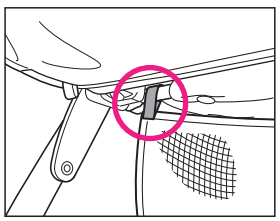
1 後ステーから後ベルトのホックを外す(5ヵ所)



2 前フレームの前ベルト(下)のホックを外す(左右)

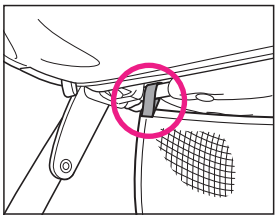


3 座面下の前ベルト(上)のホックを外す(左右)

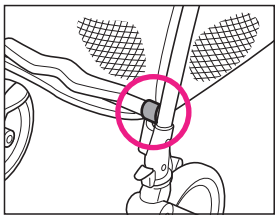


取り付ける

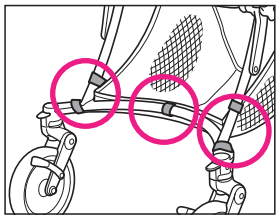
1 前ベルト(上)を座面下の前側のフレームにまわし、ホックで固定する(左右)



2 前ベルト(下)を前フレームにまわし、ホックで固定する(左右)



3 後ステーのフレームに後ベルト(5ヵ所)をまわしてホックで固定する



保管のしかた

注意

- 火の近くや高温になる場所、日光が常に当たりつづける場所、雨や水のかかる場所、湿気の多い場所での放置・保管は行わないでください。故障・変形・カビ発生の原因となります。特に夏季車中での保管にご注意ください。
- ベビーカーの上に荷物を重ねたり、圧力が加わる状態で保管したりしないでください。故障・変形の原因となります。
- 雨や水のかかる所に放置しないでください。シートの損傷やサビ、カビの発生の原因となります。
- ベビーカーの保管は直射日光を避け、湿気が少なく雨やほこりがかからない場所をお選びください。やむなく屋外で保管する場合はカバーをお掛けください。
- 車のトランクなど横に置く場合は、背面を下にしてください。また、幌が壁面に当たらないようにしてください。変形の恐れがあります。

日常点検について

●結合部分のゆるみ、部品の欠損および動作不良などの異常がないか適時点検してください。

警告

- 危険ですから、むやみに改造や分解はしないでください。
- お手入れの際に取り外した部品は、本書をよくお読みいただき、正しく取り付けてください。また、取り外したまま放置しないでください。小さな部品は、お子様が誤飲する危険があります。

ご使用中にベビーカーが破損したり、次のような状態になった場合には、ただちに使用を中止してください。

- タイヤが磨耗により薄くなった時。（中空のため、減りすぎるとタイヤが破損します。車輪は消耗品ですので交換が必要です。交換は修理センターで有償で行います。）
- ネジ・リベットや車輪のゆるみ、シートベルトの破れ・切れ・ほつれが生じた時。
- あきらかに操作性に異常を感じた時や、走行に障害を感じた時。
- 車体が変形したり、パイプの曲がりや損傷が生じた時。
- プラスチック部品や金属部品のひび割れや変形・破損が生じた時。

注油

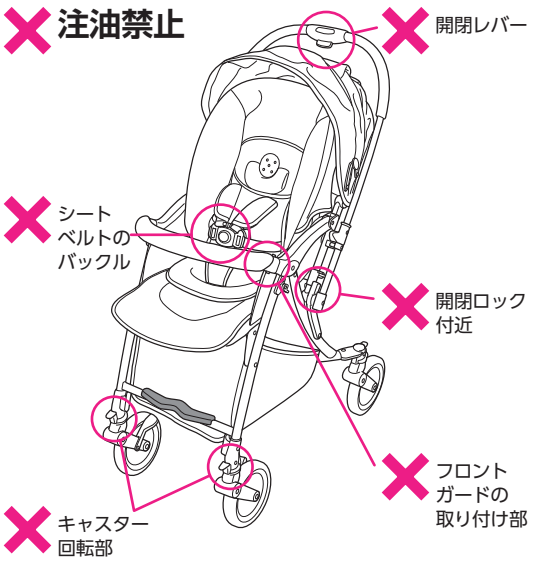
きしみなどの異音が発生したり、動作が滑らかでなくなったりした場合は、市販の潤滑油（シリコーン系）を少量（１カ所２～３滴）注油してください。注油量が多すぎると、ホコリが付着して逆に機能を低下させる恐れがあります。

警告

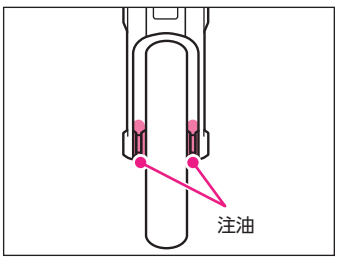
シートベルトのバックル、フロントガードの取り付け部、開閉レバー、開閉ロック付近、キャスター回転部には注油しないでください。動作不良を起こす恐れや、バックルやフロントガードが不意に外れてお子様が落下する恐れがあります。

注意

お子様が触れたりなめたりする恐れのある縫製品やフロントガード、アームレストには油がつかないように注意してください。万一ついてしまった場合は、油をしっかり拭き取ってから使用してください。



走行時に異音が発生した場合は、下記の場所に注油してください。



清掃

車体の清掃について

使用前にタイヤやフレームについた、泥、ホコリなどはよく絞った濡れタオルなどを使ってきれいに拭き取ってください。

注意

- 定期的に清掃を行ってください。車体に泥やホコリなどがついたままで使用しないでください。
- 洗剤やウェットシートにはプラスチックに影響を及ぼす成分が含まれているものがあり、変色したり、破損する恐れがあります。

縫製品の洗濯・洗浄

快適にご使用いただくために、汚れたら洗濯・洗浄してください。

注意

- ●製品の特性上、ご使用方法によっては若干色落ち・色あせすることがあります。
- ●一般の洗濯用洗剤が使用できますが、蛍光増白剤入りの洗剤の使用は避けてください。事前に洗剤の注意書きもお読みください。
- ●保管の状態により、洗えるリバーシブルシートにカビが発生することがあります。こまめに洗濯をして清潔に保つよう心がけてください。
- ●洗濯を繰り返すと小さなシワが発生したり、クッションが多少薄くなる場合がありますが、使用上の問題はありません。

●洗えるリバーシブルシート、フロントガードカバー、肩ベルトカバー、股ベルトカバー、ハグットシートSの洗濯

下記の方法に従って洗濯してください。

- ・液温を 30℃以下にして、やさしく手洗いしてください。
- ・洗濯機を使用する時は、洗濯用ネットに入れて、液温 30℃以下の弱水流または手洗いモードで洗濯してください。
- ・アイロンをかけないでください。
- ・漂白剤や漂白剤入りの洗剤は使用しないでください。
- ・ドライクリーニングをしないでください。
- ・乾燥機は使用しないでください。洗濯したものを干す時は、形を整えて日陰に平干ししてください。
- ・濡れたまま放置しないでください。カビなどが発生する恐れがあります。
- ・洗濯後、十分乾燥させてから使用してください。乾燥が不十分な場合、カビなどが発生する恐れがあります。

●幌、カゴ、シートベルト(腰/肩)の洗浄

注意

部品の取り外しを行う際は、シート取り付け部、ガード差込口、幌の差込口などでケガをしないように注意してください。

丸洗いはできません。以下の方法で洗浄してください。

- ・液中にはつけず、液温30℃以下の洗剤をつけたブラシやスポンジなどを使用して、汚れを拭き取ってください。
- ・洗剤を使用して汚れをとったあとは、水を含ませた布やスポンジで洗剤成分が残らないように数回拭き取ってください。
- ・乾かす時は、乾いた布で水分を拭き取り、陰干ししてください。

●メッシュプレートシート

注意

洗濯できません。布などで汚れを拭き取るだけにしてください。濡らしてしまった場合は十分に乾燥させ、中の水分を取り除いてください。

洗濯ができませんので、よく絞った布などで汚れを拭き取るだけにしてください。

廃棄方法について

お住まいの各自治体の廃棄方法に従って処分してください。
（環境保護のため、適正な廃棄をせずに放置することはおやめください。）

アフターサービス

以下の場合には、ただちにご使用を中止し、製品名、シリアル番号（ハンドル左内側に記載）をご確認の上、お買い上げの販売店または、当社修理センターまでご連絡ください。
そのまま使用しますと、重大な事故につながる恐れがあります。
・ご使用中に故障などが発生した場合
・点検中に破損などを発見した場合
・部品の交換、修理の必要が生じた場合
・その他異常を感じた場合
保証期間中（お買い上げ日より1年間）に、部品の欠品、加工不良など当社の責任によるもの、取扱説明書や注意書きにしたがった正常な使用状態で故障した場合には、保証規定に基づき無償修理いたします。
保証期間を終了した場合の修理、部品販売については有償にて承ります。
ご購入日より１年以上経過した製品の修理においては製品修理箇所以外の品質保証はいたしかねます。修理箇所の保証期間は３ヵ月です。
製品のご購入後３年間は修理を申し受けますが、修理必要部品の在庫がなくなった場合には、修理ができないことがあります。部品の保有期間は、製造中止後３年間です。ただし、３年以内であっても、部品の色・柄などについては、ご希望に添えない場合があります。

○ ご使用開始後、５年間を経過した製品については、ご使用を中止してください。

SGマーク被害者救済制度

SGマーク被害者救済制度は、SGマーク付き製品の欠陥により発生した人身事故に対する賠償制度です。
ただし、お買い上げ日より4年以内に限ります。

●賠償についてのご注意

認定したベビーカーそのものが故障したとしても、その品質について保証するというものではありません。傷害などの身体的な損害について賠償する制度です。

●製品の欠陥により事故が起きた場合には

製品の欠陥により事故が起きた場合には、下記の［事故の届出に必要な項目］を、事故が発生した日から60日以内に、協会または協会が指定する所に届けてください。

製品安全協会
〒110-0012 東京都台東区竜泉2-20-2 ミサワホームズ三ノ輪 2F
TEL 03(5808)3300

［事故の届出に必要な項目］

① 事故の原因となったベビーカーの現品
　イ）製品の名称
　ロ）製品の購入先、購入年月日

② 事故発生の状況
　イ）事故発生年月日
　ロ）事故発生場所
　ハ）事故発生状況

③ 被害の状況
　イ）被害者の氏名、年齢、性別、職業、住所
　ロ）被害の状況と程度

保証について

保証は日本国内においてのみ有効です。

ご使用中に、万一、故障が発生した場合には、現品に保証書を添えて、お買い上げの販売店またはピジョン（株）修理センター（裏表紙参照）へ修理をご依頼ください。

保　証　書

保証規定

1．有効保証期間は「お買い上げ後１年間」です。
2．製造中止後の製品は部品在庫がなくなった場合、修理できないことがあります。
3．一度ご使用になった製品は、原則としてお取替えすることはできません。
4．保証期間内に取扱説明書に基づく正常な使用方法において、万一故障した場合には無償修理を行います。お客様の誤使用などによる故障においては有償修理となります。
5．保証期間内であっても下記の項目に該当するものは有償修理となります。
　A．プラスチック部品の自然劣化による変退色。
　B．アルミフレームの自然劣化（塗装、メッキはがれ）。
　C．お客様の誤使用・保管不備・手入れ不足・改造や不当な修理による故障。
　D．可動部・タイヤの自然消耗。
　E．縫製品のやぶれ・すり切れ・ほつれなど。
　F．火災・地震・水害・落雷などの天災地変などの不可抗力、事故などによる故障。
　G．故障の原因が本製品以外に起因する場合。
　H．業務用などに使用して故障した場合。
　I．保証書の必要記入項目に不備がある場合、字句を書き換えられた場合。
　J．本保証書のご提示がない場合。
6．有償修理時に要する発送費、諸経費はお客様のご負担となります。
7．保証書は再発行いたしません。（大切に保管してください）
8．本保証書は日本国内においてのみ有効です。海外からの修理サービスは致しかねます。

※この保証書は明示した期間、条件の下において無償修理をお約束するものです。従いまして、この保証書によって、お客様の法律上の権利を制限するものではありません。

お買い上げ後、ただちに下の欄に必要項目を記入してください。保証は日本国内においてのみ有効です。

品名／カラー	ピジョン ランフィ
シリアルNo.	ハンドル左内側に記載
保証期間	お買い上げ日より1年間　お買い上げ日　　年　　月　　日
お客様	お名前
	ご住所　〒
	電話　　（　　）
販売店	店名
	住所　〒
	電話　　（　　）

※お買い上げ時のレシート添付でも有効です。

MEMO

［お願い］
製品は品質向上のため、予告なく仕様変更する場合があります。ご了承ください。

●製品の各種お問い合わせ先

〒103-8480 東京都中央区日本橋久松町4-4
ピジョン株式会社 お客様相談室
TEL 03（5645）1235
受付時間 9時～17時（土・日・祝日を除く）

●製品の修理、部品の購入などに関するお問い合わせ

〒300-0315 茨城県稲敷郡阿見町香澄の里36-3
ピジョン株式会社 修理センター
TEL 029（889）5707
受付時間 9時～12時、13時～16時30分（土・日・祝日を除く）